

令和4年度 事業運営基本方針

I はじめに

本連盟は、本県における自転車競技統轄団体であり、自転車競技（サイクルスポーツ）の普及発展を図り、心身の健全な発達に寄与することを目的として事業を推進する。その目的を達成するために、関係機関との連携を図りながら自転車競技による社会貢献に尽力していく。本連盟は、(公財)日本自転車競技連盟に本県代表の加盟団体、(公財)新潟県スポーツ協会に自転車競技を代表する加盟団体である。

近年では、2009 トキめきにいがた国体、2012 北信越かがやき全国高校総体の開催、弥彦山を駆け上がるヒルクライム大会や南魚沼市でのプロロードレースやグルメライドなどの定着もあり、大きな感動と魅力を伝えながらサイクルスポーツの持つ力と価値を実感してもらう活動に寄与してきた。今後も継続発展していく使命を感じて事業を推進していく。

各世代ともに競技者拡充、競技チーム拡充に努め、競技力向上と普及活動に重点を置いた取組は第一課題である。令和の時代となり、自転車競技（サイクルスポーツ）界も、他競技同様に少子化やジュニア世代のスポーツ離れ等の問題は否めない。しかし、ジュニア育成の拡充による底辺の拡大こそが、生涯スポーツとして息の長い自転車競技者を育成するベースであることを再確認したい。

「新潟から世界の大舞台で活躍するサイクリストを輩出したい」という願いの具現化に向けてジュニア育成事業を継続し、世界や全国で活躍する選手排出を願って事業に取り組む。

また、国内スポーツ界は、スポーツ選手の不祥事や指導者によるハラスメント事案など、多くの課題を残している現状がある。このようなマイナスイメージを払拭し、課題に向き合い、問題解決をしていくことで信頼を取り戻し、次代を担う子どもたちや青少年たちが、安心してスポーツに親しめる環境を整えていく必要がある。

本連盟もその責務を負っているといえる。スポーツ団体の事業運営の適正性の確保についての社会的要請の高まりと信頼確保を踏まえ、スポーツ庁制定のガバナンスコードに対応したガバナンスを構築し、本連盟の公益性と社会的存在意義を自覚した透明性の高い組織運営を行っていくことが求められる。連盟役員、競技者（個人・チーム）、審判員等の全構成員は、法令及び本連盟規約の遵守に努め、指導現場における暴力行為やハラスメント、不法・不正行為の根絶、防止、早期発見に努め、社会的な信頼を損なわないよう厳守することを確認し、コンプライアンスの推進について高潔性を確保することに努めていく。

II 事業の推進施策

方針

- I 生涯スポーツである自転車競技の魅力を積極的に発信し、小中学生からマスターズまでの男女各世代の競技者拡大、チーム数拡大
- II 公認競技会での競技者の活躍と競技者の(心技体を踏まえた)成長への支援

- Ⅲ 新潟県スポーツ協会の各事業推進に関する選手派遣（選考方針を明示）と目標の達成と成果の確認、各大会入賞者排出に向けた選手強化 PDCA サイクルの取組
（国民体育大会のロード・トラックの各種別（成年少年男子、女子）の得点獲得・高校スポーツ強化指定校・新潟ジュニア育成・地域ジュニアスポーツクラブ育成）
- Ⅳ 大会運営、チーム運営に携わる者の資格取得者増加と資質向上
- Ⅴ 本県自転車競技界の全県広域化と各種目間連携

1 競技水準の向上

- (1) 次代を担うジュニア選手の育成・強化を図るため、加盟競技団体が行う全国・国際水準を目指す選手の養成に対し継続して助成・支援する。ジュニアの育成、内容を精査し中・長期的、計画的な事業を図る。
- (2) 本県から我が国を代表して活躍する選手の育成や競技力の向上を目指す
- (3) 顕著な成績をおさめた優秀競技者の表彰を行い、その榮譽を称え、益々の活躍を期待する。

2 普及・振興

- (1) 多様化するサイクルスポーツニーズに対応し、競技の普及・振興を図るため大会やイベントを開催するとともに加盟競技団体および区スポーツ協会と連携して事業の拡大を図る。
- (2) 各種大会の主催、共催、後援事業としての支援
- (3) 競技者、指導者への研修会や講習会を開催し、指導者の資質向上、指導力向上
ジュニア層の育成組織の整備強化を図り、地域に根ざしたジュニアスポーツクラブの活動を支援する。

3 組織・財政基盤の確立

組織運営面では、近年の各スポーツ団体の事業運営の適正性の確保についての社会的要請の高まりと信頼確保を踏まえ、スポーツ庁制定のガバナンスコードに対応したガバナンスを構築し、本連盟の公益性と社会的存在意義を自覚した透明性の高い組織運営を行っていくことが求められる。連盟役員、競技者（個人・チーム）、審判員等の全構成員は、法令及び本連盟規約の遵守に努め、指導現場における暴力行為やハラスメント、不法・不正行為の根絶、防止、早期発見に努め、社会的な信頼を得るために厳守することを確認し、コンプライアンスの推進について高潔性を確保することに努めていく。

- (1) 一層のスポーツ振興ならびに社会的信頼の確立を図る。
- (2) 実施計画に基づき、具体的な事業に取り組む。
- (3) 財政基盤の安定を図るため基本財産の安定かつ有効的な運用に努め、自主財源の確保に向けた事業を推進する。
- (4) 広報活動としてホームページを積極的に活用した事業のPRに努める。

事業の具体的取組

① 各理事の適材適所での活動推進と委員会制の推進

毎月の定例常任理事会、年2回定例理事会（11月、3月）、各委員会制システムによる協力体制の整備

諸課題への迅速な対応を目指すべくウェブページによる情報伝達や広報活動の更なる活用や業務効率化・ペーパーレス化促進を図り、常任理事の業務負担軽減とスリム化を目指す。

② 財源確保

会費収入や大会運営事業収入増に向け、補助金獲得、及び協賛金、寄附金を募り、自主財源の増額を図る。新潟登録競技者・公認審判員・アテンダント資格者は本連盟会員であることの周知。

③ 大会派遣

（公財）日本自転車競技連盟、（公財）全国高体連自転車競技専門部、日本学生自転車競技連盟、関東自転車競技連合主催公認大会への選手派遣、帯同支援スタッフ派遣、大会費用支援、機材貸与等

④ （公財）新潟県スポーツ協会競技水準向上事業の推進

国体選手強化合宿の実施、高校スポーツ強化指定校の協力・新潟ジュニア育成・地域ジュニアスポーツクラブ育成の活性化

国民体育大会での個人、総合入賞を目指すためのサポート体制の整備と天皇杯皇后杯高得点獲得。

⑤ 目的や特色を明確化した主催大会開催

県選手権ロードレース弥彦大会 県選手権トラックレース（国体1次選考会）、国体予選会（最終選考会）連盟トラックレースの実施
今後、ロード個人タイムトライアル選手権、クリテリウム選手権の実施に向けて条件整備していく。

⑥ 関係団体との連携、協力

（公財）日本自転車競技連盟加盟団体 関東自転車競技連合加盟団体としての連携

（公財）全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）、日本学生自転車競技連盟 （公財）全国高体連自転車競技専門部等の関係団体事業への大会主管や協力

弥彦競輪クラブスピリッツ事業、BMX、シクロクロス等競技団体、新潟県トライアスロン連合との連携

新潟県スポーツ協会、県民生活環境部スポーツ課との連携

新潟ヒルクライム実行委員会、南魚沼サイクルフェスタ実行委員会 湯沢町、南魚沼市、魚沼市連携自転車活用推進協議会等での連携

今年度の重点課題

ガバナンス強化 スポーツインテグリティを自覚した運営に向けた提案

- ①事業計画に達成目標設定
国体得点目標 備品購入の計画性 ジュニアの強化の目標
- ②自主財源増大に向けた大会運営 JBCF との連携したロードレース大会開催
- ③各役割や委員会の遂行確認 委員会会議開催推進
- ④クリヤな会計 定期的な会計状況報告 複数会計担当の検討
- ⑤風通しのよい情報共有
- ⑥研修の推進